

## 歯学部カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

「至誠一貫」の精神のもと、「真心と情熱を持って歯学を通して医療の発展と国民の健康推進と福祉に寄与する優れた人材の育成」という教育目標およびディプロマポリシー（卒業時の達成目標）を実現するためのカリキュラム（教育課程）の策定方針を以下に挙げる。

1. シラバス（授業計画）には、すべての授業科目に一般目標（GIO）と到達目標（SBOs）を記載し、また評価方法や評価基準、オフィスアワーなどを明記して学習効果を高める。ここに記載されたSBOsが積み上げられることでGIOが達成され、各授業科目のGIOが達成されることでディプロマポリシーが達成される。
2. 初年次には、富士吉田教育部において学部を横断した学習や交流から広い教養を身につけ、心身を鍛えるとともに、学部横断PBLなどにより将来のチーム医療を担うための基盤づくりを行う。
3. 2年次からの専門科目では、歯学部モデルコアカリキュラムをベースにカリキュラムを策定しているが、さらに歯学部の教育目標に沿った3つのコースを設定し、授業科目を構築している。
4. 「社会と歯科医療・チーム医療コース」では、チーム医療を実践し、社会に貢献できる歯科医師を育成するため、学部外の施設を利用した体験実習や病棟見学実習、さらには学部連携病棟実習を行う。  
またPBLチュートリアルで生涯にわたる問題発見・問題解決の力を育成する。
5. 「オーラルフィジシャンコース」では、全身と口腔の関わりを重視した基礎科目を学ぶとともに、医系総合科目から口腔医に必要な医学知識を習得し、コミュニケーション能力を高めるための教育も実施している。
6. 「一般歯科臨床コース」では、臨床科目の講義と実習によって臨床歯学に必要な知識と基本的な技能・態度を習得し、診療の場で実践できる能力を養う。
7. 5年次の臨床実習では、すべての診療科において臨床に必要な知識・技能と専門職としての態度を修得し、臨床実習終了時のiOSCAで修得の達成度を確認する。
8. 6年次では、国内・外の学外施設を含めた実習施設から2診療科（2施設）を選択して、2週間ずつの研修を行い、臨床・研究のための実践力を修得する。また、卒業試験においては、歯科医師国家試験に準じた形式の試験により知識・技能・態度の修得度を確認する。
9. 以上のような6年間のカリキュラムにより、教育目標に沿った歯科医師を育成する。

## 歯学部ディプロマポリシー（学位授与の方針、卒業時の達成目標）

「至誠一貫」の精神のもと、「真心と情熱を持って歯学を通して医療の発展と国民の健康増進と福祉に寄与する優れた人材の育成」という教育目標を実現するためのカリキュラム（教育課程）を策定している。卒業までの達成目標を以下に挙げる。

昭和大学の教育理念および昭和大学歯学部の教育目標に従ったカリキュラムにより、卒業までの達成目標を以下のように定める。

1. プロフェッショナルリズム  
歯科医師としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。
2. コミュニケーションとチーム医療  
他者との良好なコミュニケーション能力を身につけ、患者や他の医療スタッフと良好な人間関係を構築し、チーム医療を実践できる。
3. 基礎医学・歯学の知識の習得と臨床への応用（生涯学習）  
基礎医学・歯学の知識を体系的に理解し、これを礎として実際の臨床に携わり、また必要な知識や情報を自ら獲得して生涯にわたって問題解決に応用できる。
4. 臨床技能  
臨床歯学の基本的な技能、すなわち医療面接、診察、診断および治療法を身につけ、診療の場で実践できる。
5. ヘルスプロモーション  
患者やその家族および地域住民に対して、ヘルスプロモーションの考えに基づいて適切な保健教育と包括的なプライマリーケアができる。